

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	韓国語文化（前期）	
科目基礎情報							
科目番号		0075		科目区分	一般 / 選択		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科（機械創造システムコース）		対象学年	3		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		「改訂版・韓国語の世界へ 入門編」 李 潤玉, 酒匂 康裕, 須賀井 義教, 睦 宗均, 山田 恭子(朝日出版社)					
担当教員		崔 維卿, 桂 林春					
到達目標							
1.英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができる。 2.ハングル(文字)を読むことができる。 3.日常生活に必要な簡単な会話ができる。 4.言葉の背景にある文化に触れることによって、隣国に対する関心と理解を高めることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができる。		英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考が概ねできる。		英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができない。	
評価項目2		ハングル(文字)を正確に読むことができる。		ハングル(文字)を概ね読むことができる。		ハングル(文字)を読むことができない。	
評価項目3		日常生活に必要な簡単な会話ができる。		日常生活に必要な簡単な会話が概ねできる。		日常生活に必要な簡単な会話ができない。	
評価項目4		言葉の背景にある文化に触れることによって、隣国に対する関心と理解を高めることができる。		言葉の背景にある文化に触れることによって、隣国に対する関心と理解を高めることができる。		言葉の背景にある文化に触れても、隣国に対する関心がなく理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		本講義は韓国語の文字と発音をマスターし、日常生活に必要な簡単な会話文を身につけることを目的とする。					
授業の進め方・方法		文字をマスターするために書きと発音の練習に力を入れる。 発音の練習には視聴覚資料を活用することが多い。 会話文に慣れるために文型練習を並行する。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス		予習復習の仕方、授業の進め方、テスト、参考書、シラバスの説明などを理解する。		
		2週	第1課 文字と発音1		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		3週	第1課 文字と発音1		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		4週	第2課 文字と発音2		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		5週	第2課 文字と発音2		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		6週	第3課 文字と発音3		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		7週	第3課 文字と発音3		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
	8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。			
	2ndQ	9週	第4課 「韓国人です」		鼻音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		10週	第4課 「韓国人です」		鼻音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		11週	第5課 「韓国語は専攻ではありません」		激音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		12週	第5課 「韓国語は専攻ではありません」		激音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		13週	第6課 「教室は階段の横にあります」		二つの字母からなるパッチムの発音を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		14週	第6課 「教室は階段の横にあります」		二つの字母からなるパッチムの発音を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		15週	9～14週までの振り返り		9～14週までの内容について復習を行い、理解の定着を図る。		
16週		定期試験					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。		3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。		3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。		3	

				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3		
評価割合							
	試験	小テスト等	演習・レポート	発表	相互評価	その他	合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	0	100
基礎的能力	70	10	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0